

流通と資源循環から考える

「持続可能な食・農・地域コミュニティづくり」第2回セミナー

024年3月23日（土）13時30分～16時

会場：生協生活文化会館 4階

オンライン併用

再生産可能な包装資材をどう広げるか （循環経済と生産・流通・消費の役割）

若原章博さん（研究センター会員）

より環境負荷の小さい包装材に切り替えるために、材料開発、包装材としての性能、再生処理技術と排出方法の確立という開発プロセスの中での消費者と流通関係者それぞれの役割を考えます。

プラスチックに代わる「バガス素材」容器の特徴と実証実験への誘い

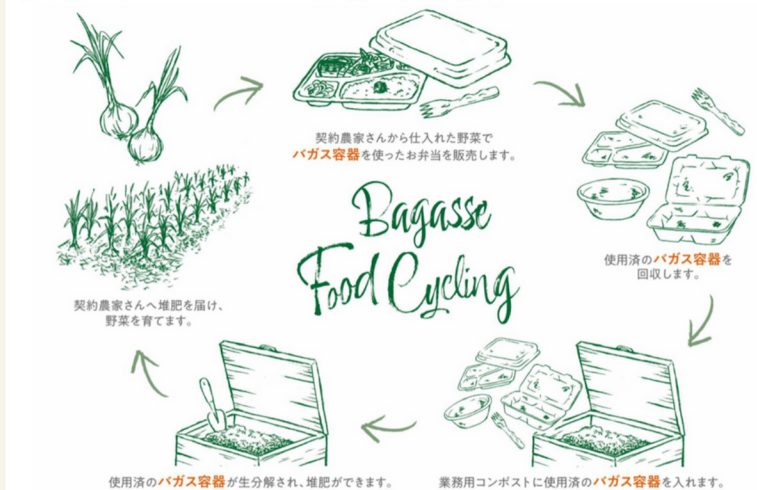
株式会社 折兼

バガス容器は、サトウキビの搾りかすに竹や麦を混ぜて作られた容器です。石油資源使用量の削減とともに、植物原料の有効活用につながります。

土中・海中・コンポストで分解する生分解性を有しておりLCAの観点でプラスチックと比較して80%以上の二酸化炭素排出量削減効果があります。

バガスフードサイクリング

使用済みのバガス容器を回収し、コンポストで分解して堆肥化。その肥料を野菜の栽培に有効活用するフードサイクリングの取り組みを実証実験中。



「バガス素材」容器の生分解実験の進捗報告

やなマルシェ（まるっと農園）より

申し込み NPO地域と協同の研究センター

（氏名・所属・メールアドレス・参加方法）を

TEL:052 781 8280 FAX:052 781 8315 mail:AELO3416@nifty.com

または右のQRコードで



「バガス素材」 容器の生分解実験とは

2月24日（土）
第20回東海交流フォーラム昼食
交流で「バガス容器」を使用



容器を回収し
はさみで切っておく

新城市八名やなマルシェ
(まるっと農園) の土壤に



3月23日（土）
公開セミナーで
土壤分解の様子を報告

(約20日間の途中経過です)